

～若者自立支援と地域再生～横浜・神奈川からの挑戦～



# 若者リバイバルフォーラム2007

若者の元気で、みんなが生き生き暮らせる地域を創る

超少子高齢化社会の到来によって、日本全体で若者(15歳～34歳)の数が急速に減り始めています。この傾向は、比較的若者が多く暮らす横浜市のような大都市でも例外ではありません。

一方で「ひきこもり」や「ニート」と呼ばれる社会・経済的に自立が困難な若者の存在が大きな社会問題となっています。景気が回復し、若者の就職状況が改善したと言われていますが、横浜市に暮らす若者のうち現在でも約10人に1人がいわゆる無業状態にあると推計されています。

また、フリーターなど不安定な就労状態にある若者やワーキングプアと呼ばれるいくら働いても経済的な困窮状態から抜け出せない若者達も増えています。

社会全体の活力の源になる若者の絶対数が減り続ける中で、社会との関係の中で、自分自身の能力を磨き、発揮できる十分な機会や場を得ていない若者達が増えていくのだとしたら、私達の暮らす地域社会や都市、そしてこの国の将来は極めて危機的な状況にあると言っても過言ではありません。

この「若者リバイバルフォーラム2007」は、仮に一度は人生につまずいた若者であったとしても、社会の中で再び、生き生きと学び、働くことのできる機会や場を創ることの大切さや、若者の自立支援を通じて、地域社会や都市全体を再生していくための知恵や実践について横浜・神奈川の地から発信し、多くの方々と共有化するために開催するものです。

若者の自立支援や地域再生に取り組む市民団体や事業者、学校関係者、自治体職員、そして何よりもこれからの私達の社会の未来を担う若者達に参加を呼びかけます。

期日

8/4<sup>土</sup>

時間  
場所

【第1部：分科会】午前10時～正午 市内の若者自立支援の現場

【第2部：総合シンポジウム】午後2時～午後5時 新都市ホール(横浜駅東口)

【交流会】午後5時30分～午後7時30分 横浜駅西口周辺会場

# 若者リバイバルフォーラム2007 プログラム

## 第1部 分科会

横浜市内にある若者の自立支援と地域再生の現場を訪れ、そこで活動する団体のメンバーと共に、ワークショップや意見交換を行うことによって、それぞれの地域の特色や課題に応じて、若者を元気にし、地域を再生するための秘訣について考えます。

### 【第1分科会】若者の力で復興する商店街—磯子区

磯子区にある若者自立塾Y-MACの塾生達とハマのレトロな商店街「浜マーケット」の店主たちによる、被災した商店街を復興する取り組みを軸に、若者の自立支援を通じた商店街振興の可能性について議論します。

### 【第2分科会】世代間連携で街の魅力づくり—保土ヶ谷区

小、中学生から若者、高齢者まで多世代が交流しながら地域の居場所づくりに取り組む保土ヶ谷区天王町地区をモデルにして、若者を軸にした世代間連携による街の魅力づくりを考えます。

【第3分科会】若者を元気にする都心—横浜駅西口周辺地区  
「よこはま若者サポートステーション」や「かながわ若者就職支援センター」など神奈川県内の若者就労・就学支援施設が集中する横浜駅西口周辺の魅力を、若者の自立と再挑戦をサポートする都心という視点から再考します。

### 【第4分科会】「ひきこもり」からの再スタート—県立青少年センター

ひきこもり状態にある若者が、社会参加から就労へと至るための支援のありかたについて、県や市との協働でひきこもりの若者をサポートする「NPO法人リロード」や「社会福祉法人たすけあい ゆい」の取り組みから考えます。

## 第2部 総合シンポジウム

基調講演や分科会からの報告・提言に基づいて、若者の社会・経済的な自立を促す包括的な支援のありかたや、若者が元気になることで、地域全体を再生・活性化するための方策について議論します。

### ①基調講演 午後2時～2時50分

「若者の社会・経済的自立に向けた課題と包括的支援の方向性」

宮本みち子(放送大学教授・横浜市青少年自立支援協議会座長)

### ②分科会からの報告・提言 午後3時～午後4時

各分科会からの議論内容の報告と若者の自立支援と地域再生に向けた提言

### ③会場との意見交換 午後4時～午後4時50分

### ④横浜・神奈川若者元気都市宣言

午後4時50分～午後5時



## 参加方法

横浜市子ども青少年局企画調整課まで、下記の要領に従って郵送、FAX、Eメール等で事前にお申し込みください。第1部分科会参加者は、出来るだけ第2部にもご参加ください。なお第2部だけの参加も可能です。また参加費は、交流会以外は無料です。

### 【第1部】定員：総計150名(先着順)

お名前、連絡先(ご住所又はFAX、Eメール)、希望する分科会名(第2希望がある場合は、その分科会名も)、第2部への参加の有無を明記の上、7月25日までにお申し込みください。参加の可否も含めて、お申し込み頂いた方には、ご案内を差し上げます。

### 【第2部】定員：400名(先着順)

お名前、連絡先(ご住所又はFAX、Eメール)を明記の上、7月31日までにお申し込みください。定員を超過し、ご参加できない場合のみ、ご連絡させていただきます。なお一時保育や手話通訳が必要な方はあらかじめご連絡ください。

### 【交流会】

参加費用3000円。交流会参加希望者は、第1部または第2部の参加申し込みの際に交流会への参加の意志を明記してください。参加費は当日徴収します。また場所は、当日ご案内しますが、横浜駅西口周辺の会場になる予定です。

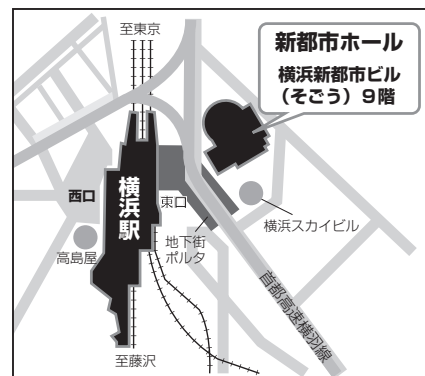
## 横浜市子ども青少年局企画調整課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

☎(045) 671-4281 ㊚(045) 663-8061

Eメール kd-kikaku@city.yokohama.jp

申し込み  
問い合わせ先



「若者リバイバルフォーラム2007」の詳細な企画内容につきましては、横浜市青少年自立支援サイト「FOR YOU」にて随時、お知らせします。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/kikaku/jiritsu/index.html>